



# 前橋育英高校報

題字 中村有三 学園長

建学の精神 ～正直・純潔・無私・愛～



ともに希望を語ろう。



## CONTENTS



### 特集 2・3面

- ・お挨拶
- ・卒業生教諭情報交換会
- ・地域懇談会
- ・進路・スポーツ実績



### 保護者会だより 4・5面

- ・進路の日・全国高P連大会
- ・前橋まつり巡視
- ・県保護者会連合会学校見学会
- ・進学合宿
- ・吹奏楽部 定期演奏会
- ・育英祭



### 同窓会だより 6面

- ・同窓会長挨拶
- ・私の近況報告
- ・親子三代同窓生



### 後援会だより 7面

- ・新旧後援会長挨拶
- ・総会報告
- ・インターハイ壮行会
- ・優秀前橋育英生
- ・コラム育英II



### トピックス 8面

- ・全国大会出場決定
- ・県高校総文祭
- ・2016全国総文祭出場決定
- ・県創意くふう作品展

学園長挨拶

青春再び来たらず

中村有三



わが前橋育英高校は、平成25年10月、創立50周年記念式典を盛大に執り行った。

この年は硬式野球部が悲願の甲子園初出場初優勝を遂げ、さらには群馬県民栄誉賞、前橋市民栄誉賞の栄誉に輝いた。50周年という大きな節目の年に、2万2千余の卒業生達の面目を一新し、母校の誇りと社会貢献の一助となれたことは感謝感激この上もなく、関係者一同と共に

理事長挨拶

未来への飛躍

中村 義寛



本年は第93回全国高校サッカー選手権大会において準優勝という結果を収めることが出来ました。準決勝の逆転勝利、決勝の激闘と多くの感動を与えてくれ、全国に「前橋育英」の名を響かせてくれました。サッカー部関係者、関係

校長挨拶

心の炎をかき立てて

竹淵 敏



新年度を迎え、7ヶ月余りが過ぎました。気づけば出発点は後ろに霞み、終盤に差し掛かるうかというところまで来ています。「歳月人待たず」とも

今年度は、入学式で新入生に「ともに希望を語ろう。諦めず挑戦する勇氣を持つのだ。希望の灯りは進むべき道を照らす導きの星だ」と最初の言葉を示しました。教職員を含む在校生にも「挑む」というテーマで27年度の重点目標を提示しました。

いずれにせよ、挑戦するということは破れることがあるということですが、失敗や挫折する方が多いでしょう。ペしゃんに踏みつけられることがあるかもしれません。それでも敢えて言いたい。自戒の念を込めて「今がタメでも未来がある。激しい苦痛は過ぎ去り、希望が君を照らししてくれる」と。「挑む」という言葉には「灯心をかき立て、火の勢いを増す」という意味があります。心に火を点け道を明るくするのは自分自身にしかできません。諦めず挑み続ける、欠片(かけら)でもいいから希望を持ち続ける自由は、全ての人の前に平等に開かれています。今年度の終わりに向けて、新たな希望と再スタートを、ともに。

卒業生教諭情報交換会 vol.4 ~教育現場から期待すること~ 11月16日(月)

毎年恒例となりました卒業生教諭情報交換会が今年も盛大に行われ、各先生方の活躍の様子を聞かせて頂いたり、現在教育現場で抱えている課題や様々な問題点について本音で語って頂き、楽しく有意義なひと時を過ごすことができました。その一部を紹介させていただきます。

【金子登先生】前橋育英高校には群馬県の高校教育界を牽引するような力を発揮していただきたいと思っております。そのためにも他校には負けないストロングポイントを持つことと、さらに面倒見の良い前橋育英であることを大切にしてもらいたいのです。

【岩崎真人先生】スポーツの活躍はある程度新聞等で知っていますが、進学実績についてはトップレベルにあるにもかかわらずあまり知られていません。保護者は情報を知らたがっています。確かな成果を上げつつその結果を各種メディアを通じて発信して欲しいです。

また、部活動については早い段階で公開練習会や見学会を開いていただき、保護者と子供が一緒に参加できる機会が沢山あればありがたいです。



岩崎 真人 先生

【小川慎太郎先生】中学校の現場で見ていると、前橋育英には公立入試の結果によらずに不意ながら入学する生徒もいます。しかし、その生徒達が前橋育英でなければ体験できないようなこと、例えば野球部の応援やサッカー部の全校応援などの経験をすることで、愛校心が芽生え文武両道を実践していくように見えます。それは保護者も同じで、前橋育英に子供を預けて良かったと喜んでいてる姿を多く目にします。

【齋藤大輔先生】スポーツ科学コースと保育科は特色のあるコース、科として社会的にも高い評価を得ています。しかし今後の生徒減を考えたとき、又は中学生の進路選択の指導

をしていて感じることは、介護関係の勉強ができるコースがあると良いのではないかと感じます。新分野を切り開いてはどうでしょうか。

【中川徹先生】中学、高校一貫校では小学校5年生を対象にした説明会をしています。内容はともかく早い段階で進路を意識してもらうことは意義のあることであると感じます。

【小池和幸先生】やはり特色のある学校は強いです。将来を見据えて保育士になりたいと考える子供は中学2年生でもはつきりと前橋育英に進みたいと思いを表示します。

また、部活動については早い段階で公開練習会や見学会を開いていただき、保護者と子供が一緒に参加できる機会が沢山あればありがたいです。

【橋本智之先生】高崎の中学校に勤務していますが、最近の傾向として埼玉の高校への流れが強まっています。かなり積極的な宣伝活動等アピールをしています。進路実績などもそれなりに上がっているの流れば止められそうにありません。前橋育英高校は面倒見のいい学校と言う印象を多くの保護者、生徒が持っています。



橋本 智之 先生

【新井のどか先生】兄姉が前橋育英高校を卒業し、とてもよく面倒を見てもらったという印象があり、私も行きたいと言っている生徒が多くいます。普通科を

卒業した私としては、スポーツや保育に負けないアピールをして欲しいです。立派に仕上げた文化祭などもっとアピールしたらよいと思います。

【佐藤実可子先生】前橋育英は選ばれた僅かな生徒しか行けないというイメージがあります。また生徒の中には前橋育英のネイバリーに対して自分が無理と尻込みしてしまっている生徒が多いように感じます。結果的に併願で入学するケースも多いように思います。しかし前橋育英高校は卒業の時に来て良かったと思える学校であるので、今後もそんな学校であり続けてください。



佐藤 実可子 先生

【三澤秀匡先生】全体の傾向としては私立を第一志望に考えている生徒の割合が増えていると感じます。その中で、埼玉の学校へ流れる生徒も増えています。前橋育英に入学して大きく成長した生徒はたくさんいると思いますので、前橋育英ではこのように生徒を伸ばします。と明確に指導方針を示して欲しいです。



三澤 秀匡 先生

他にも参加していただいた先生方には貴重なご意見をたくさん頂きましたが、紙面の都合上省略させていただきます。竹淵校長先生より、「先生がたの情報は大変にありがたいです。中学校現場での情報は我々には伝わりにくく、中には思い違いで伝わっている情報もあります。各先生方の活躍を期待しつつ、今後もこの会がより盛大になり続けていく事を願っています。」

# 進路

～きっと見つかる、色んな夢～

過去3年間進路実績

大学合格者数 **1,245名** (現役1,149名)

国公立・準大学合格者数 **164名** (現役142名)

私立大学合格者数 **1,081名** (現役1,007名)

## 進路の日Ⅰ類



関心を持つ内容の討論会でした。生徒の感想からは授業をしっかり受けることの大切さ、隙間時間の有効活用の仕方が解った等、有意義な時間を過ごせたことが十分に伺えました。

Ⅰ類「進路の日②」では、今年度、国際教養大、東京工業大、名古屋工業大、早稲田大の現役学生や卒業生を招き、難関大学生討論会を実施しました。内容は受験生としてのモチベーションの保ち方や大学生活の様子など、1年生から3年生までⅠ類の全生徒誰もが

本校では、毎年2回、朝日が丘町、上新田町、光が丘町、大利根町の各自治会の役員の方々をお招きし、本校管理職と地域住民の方々との情報交換の場を設けています。

去る7月6日に行われた今年度1回目の地域懇談会では、生徒の自転車マナーや雨天時の保護者の車での送迎に関して貴重なご意見・ご指摘をいただきました。

11月17日に行われた2回目の懇談会では、学校側から交通安全教室や育英祭の様子、クラブ活動の成果などの近況報告を行いました。自治会役員の方々からは、校地周辺の危険箇所等のご指摘に加え、清掃活動等と一緒に生徒とふれ合う機会を設けてほしいなどの要望も出されました。

## 地域懇談会(報告)

また、当日お集まりいただいた各自治会の役員の皆様は、本校への関心が高く、生徒の高校生活に関する疑問だけでなく、卒業後の進路状況についても熱心に質問されていました。

今後も地域の方々との連携をより一層深め、近隣の皆様に愛される前橋育英にして行きたいと思えます。



## スポーツ実績 2015 Summer~Autumn

### 陸上競技部

■男子  
全国高等学校総合体育大会  
陸上競技大会  
7種目出場

2015紀の国 和歌山国体  
第70回国民体育大会  
少年男子A【400mH】阿部保希(3年)出場

第50回群馬県高等学校総合体育大会  
■男子  
駅伝競走の部 3位

■女子  
駅伝競走の部 3位

### 水泳部

■男子  
第50回群馬県高等学校総合体育大会  
競泳学校対抗 **優勝**

全国高等学校総合体育大会  
水泳競技大会  
【1500m自由形】高橋洗輝(1年) 15分32秒94 5位  
【400m個人メドレー】天田雄大(3年) 4分25秒10 6位

2015紀の国 和歌山国体  
第70回国民体育大会  
少年男子B【400m自由形】高橋洗輝(1年) 3分59秒99 5位  
少年男子A【400m個人メドレー】天田雄大(3年) 4分27秒10 6位

第38回全国JOCジュニアオリンピックカップ  
【1500m自由形】高橋洗輝(1年) 15分43秒73 4位



### 剣道部

全国高等学校総合体育大会  
剣道大会  
■男子個人  
小林幸太(3年) 出場

柔道部  
全国高等学校総合体育大会  
柔道大会  
■男子個人  
【90kg級】片倉弘貴(3年) 出場  
【100kg級】吉川拓海(3年) ベスト8

■女子団体  
【48kg級】木村萌乃(2年) 出場



女子テニス部  
全国高等学校総合体育大会  
テニス競技大会  
【シングルス】渡辺理子(2年) 出場

2015紀の国 和歌山国体  
第70回国民体育大会  
少年女子 群馬代表 渡辺理子(2年) 出場

女子ソフトボール部  
古河市全国高校招待女子ソフトボールフェスティバル 5位  
県高校夏季ソフトボール大会  
ブロック**優勝**

硬式野球部  
第68回秋季関東地区高等学校野球大会  
県予選 ベスト8

## 進路の日Ⅱ類

Ⅱ類「進路の日②」は今年も地元元国公立大学(群馬大理工教育、高経大、県女)に在学する4名の本校卒業生を招いたシンポジウムを実施しました。参加した生徒の感想を見ると、「自分たちと同じⅡ類卒の大学生の話聞いてとても刺激を受けた。」「先輩方は皆、早くから目標を持ち、スキルアッププログラムや定期試験に向けて集中して勉強を続け、それが進路実現に繋がるのだということが分かった。」という内容が多く、改めて「Ⅱ類生が目指すべき進路」を実感できた様子でした。

## 校外夏期進学合宿を終えて



今年も恒例となった3学年合同実施というスタイルで、新潟県津南町での合宿を7月21日からの4日間ひたすら学習だけでした。2、3年生は各自の計画に基づいた自主学習、1年生は3教科2時間ずつの講義と自主学習の2本立てで、各学年1日11時間以上、4日間で35時間という過酷な日々を完結できました。最終日の感想文には充実した学習の実感がしっかりと込められていました。

## 大学見学を終えて



10月15日今年も大学見学を実施しました。これは1年普通科全生徒が東大、筑波大、東洋大や日体大など首都圏の有名大学を訪問し、志望校決定の動機付けと、具体的な情報収集を目的とした進路行事です。今年も天気にも恵まれ、秋晴れの中、各コースで大学の職員や学生による案内をして頂き、憧れの大学の学食でランチを採るなど貴重な経験をさせて頂きました。

# 保護者会だより

## 第二回

### 進路の日

#### Ⅲ類・Ⅳ類・保育科

進路指導委員長 土屋 秀子

9月14日に第2回「進路の日」が実施されました。Ⅲ・Ⅳ類と保育科の生徒を対象に昨年度より始まった「保護者会協力による職業観成ワークショップ」が行われました。

今年度は講話協力の保護者も増え、2・3年生が各教室、1年生は体育館、各場所において2名の保護者が入れ替えて、保護者自身の職業経験をもとに「働く保護者からのメッセージや将来の就職までに知っておくべきこと」などを話してもらいました。終了後、保護者からは「緊張したが、素直に真剣に話を聞いてくれ、熱心にメモを取る生徒も多かった。今後の進路に役立てて欲しい」などの感想がありました。



進路部主任 阿久津 広嗣

②は今年も保護者会のご協力を頂き、職業観成ワークショップの開催となりました。2、3年生のⅢⅣ類、保育科各クラスで講演(特別授業)、1年生には体育館での講演となりました。内容は「将来の就職までに知っておくべきこと」と職業とは自分の興味関心、能力適性が活かせて、自己実現と社会貢献が同時に達成できるのがベスト。しかし、現実はそのようにならないことも多いが、事に打ち込む過程で社会や人



との関わり方を知り、やがて価値観や生き甲斐を感じていくものだ。という実社会を生きる保護者の皆さんならではの貴重なお話をして頂きました。

### 職業観成ワークショップに参加して

1年6組 笠原 きらら

保護者会の野口さんのお話を聞き、自分のやりたいことを考えてみました。私にはやりたいことが沢山ありますが、上手く出来るかが心配でした。でも、今日のお話のおかげで、焦らなくてもいいとわかりました。また、生きていくということは命を懸けるということだと聞き、今何を全力ですべきかが分かりました。私は勉強が得意ではありませんが、勉強の大切さもわかりました。今できることを真剣に考え、将来のために頑張ろうと思います。

### 第65回 全国高P連大会

副会長 笹川 章子

第65回全国高校PTA連合大会が8月20、21日の両日、岩手産業文化センターを主会場に、全7会場で開催され、分科会が行われました。

情報化の進展など子どもを取り巻く環境が激変する中で学校、家庭、地域が果たす役割とは何か。全国のPTA関係者約1万人が集まり、「未来圏からの風をつかめ!新時代を担う君たちと共に」を今年のテーマに、発表が行われました。初日の基調講演には「夢高くして足地にあり」を題に芝浦工業大学学長の村上雅人氏にお話し頂き、2日目の記念講演には、映画監督の友成啓史氏をお招きし「アドリブを生きる力」を題にお話し頂き、とても感銘を受けました。非常に心に残る2日間でした。



### 前橋まつり巡視

生徒指導委員長 蛭間 和代

10月10日(土)前橋まつりの巡視を行いました。前橋市役所に集合し校長先生をはじめ先生方12名、保護者18名で3班に分かれて出発しました。巡視中に何名かの生徒に会い先生方が声掛けをしましたが、良い意識づけになったと思います。今後も生徒達の為に協力していきたいと思えます。



### 学校見学会に参加して

書記 渡邊 松子

9月18日、白根開善学校において群馬県私立中学高等学校保護者会連合会の学校見学会が行われました。VTR等を交えての学校紹介、保護者会活動状況報告が行われ、白根開善学校の特徴でもある豊かな自然の中の学校生活、全寮制、そこで築き上げられている仲間と共に強く生きる力、諦めない力、最後までやり通す力が身に付き、生きる楽しさを学び将来へ繋いでいるのだと感じました。常磐高等学校父母の会からは100年を超える学校の歴史と伝統、生徒一人一人を全力でサポートしている先生方についての報告があり、とても感動しました。



### 進学合宿について

7月21日から4日間、進学合宿が行われ、厳しい暑さが続く中、たくさんの方が参加されました。出発式でも「やる気」に満ちあふれた様子が伝わってきました。学校に残る先生方と進路指導委員会の役員で、出発するバスを見送りました。今年度も、保護者会から果物とドリンク等を差し入れました。

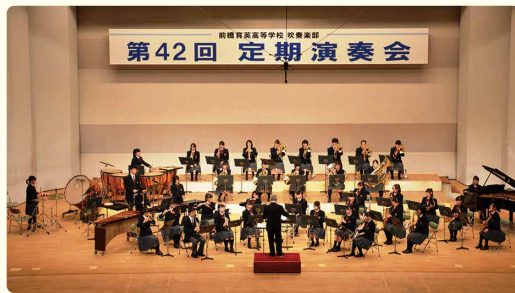
# 吹奏楽部

## 第42回定期演奏会を終えて

指揮者 熊井 正之

去る9月13日、ベイシア文化ホールに於いて、第42回定期演奏会を開催致しました。当日は800名を越える方々にご来場頂き、盛大な演奏会となりました。

本校吹奏楽部は近年、部員数の減少に悩まされながらも、各種コンクールや発表会への出場、また校内外での式典演奏や運動部の応援活動など、少しずつ活動の幅を広げて参りました。そ



のような活動の集大成としての位置づけが定期演奏会にはあります。そのため、部員たちも熱意を持って練習に取り組んだ結果、今年度も無事、幕を下ろすことができました。

3年生はこの演奏会を最後に引退となりましたが、今後も後輩たちがその情熱や伝統を引き継ぎ、より一層の部の発展と音楽性・人間性の向上に励んでいくものと信じております。

ご来場してくださった皆様、また様々な形でご支援してくださった関係各位に対し、この場をお借りして、改めてお礼申し上げます。

# 育英祭

## 全てを繋いだ育英祭

育英祭実行委員長  
3年 相原 真由美

この度は育英祭にお越しいただき、誠にありがとうございました。今回私は実行委員長を務め、育英生が心と心を繋いでいる姿を見ることができ、とても嬉しく思えました。

一日目は校内発表のため、生徒会や実行委員が企画したダンス甲子園や育英グランプリなどを生徒以外の方に観ていただくことはできませんでした。クラス発表ではクラスの団結力などを感じられましたが、それらの企画では、クラスや学年を超えた繋がりを感ずることができました。また二日目は、クラスや部活動



の発表などを通して、来場された方々との触れ合いを通して、繋がることの大切さや楽しさを感じられました。今回は2000名を超える方々の来場があり、用意したパンフレットが終わってしまったり、模擬店の食品が早い時間に完売してしまったりといった、フツングもありました。準備不足を痛感した反面、それほど多くの方に来場していただいたことを実感し、大変嬉しく思いました。

開会式の挨拶で私は「前橋育英高校が一つのチームとして心と心、手と手を繋いでください。」と話しました。生徒たちは本当に輝いて見え、それが実行できた育英祭であったと思います。後輩の皆さんには、今回感じたことを次回へ、そしてさらにその次の育英祭へ繋いでいってほしいと思います。

秋風が心地よい時節となりました。10月23日、24日の両日で第24回育英祭が行われました。お天気にも恵まれ、大変な賑わいでした。何週間も前から毎日準備に追われ、大変だったと思います。各学年の教室での発表やクラス展示は、様々な工夫がありとても感心しました。クラス全員で協力しつものものを創りあげた喜びは、大きなものになったと思います。私は保護者会のバザーに参加させていただきました。不慣れで戸惑うこともありましたが、楽しく過ごさせていただきました。

## 文化祭に参加して

総務副委員長  
大崎 さやか

今回の文化祭では「繋がる」テーマでした。生徒さん達がみんな笑顔で声を掛けて、楽しんでる姿がとても印象に残っています。この文化祭をおして、経験したことや感



じたことを皆さんの将来の夢や思いに繋げていただきたいと思えます。



## トイレ改修工事について

この度本校では、衛生環境改善の一環として全校舎においてトイレの改修工事を実施しました。工事に際しては、本年5月22日に保護者会総会にて承認されたとおり、「環境整備積立金」を使わせていただいております。

今回の改修工事の目的は、和式トイレの洋式化ですが、より多くの方の要望にお応えするため、敢えて和式も残しました。ご来校の際は、新しくなったトイレをぜひご利用ください。

前橋育英

# 雄渾

同窓会  
だより

## 一致団結

同窓会長 新井 信雄  
(第3期生・昭和43年卒)



前橋育英高校同窓会会員の皆様には、日頃より物心両面にわたりご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

現在、同窓会員は2万2809名となり、これまで高校で学んだ事を各方面で活かし、大いに活躍していることと拝察いたします。

今年度の運動クラブの活動では、県総体において男子総合11年連続23回目の優勝を成し遂げ、女子総合でも過去最高の3位入賞を果たしました。関東大会においても、陸上部が4年連続6回目男子総合優勝し、硬式野球部を始め男子バスケット部、女子サッカー部男子柔道部、女子ソフトボール部が輝かしい成績を収めました。その中でもウエイトリフティング女子58kg級では優勝を成し遂げました。そして過去の成績から県高体連より、水泳部、柔道部の両部は20回優勝、陸上競技部は10回優勝の成績を収め、優秀クラブ賞を受賞しました。

夏の全国高校総合体育大会では大会スローガン「2015君が創る近畿総体」のもと、生懸命に戦い上位

入賞者を多数輩出し、秋の和歌山国体「紀の国わかやま大会」では本校選手活躍が期待されました。また各クラブの同窓生の活躍にも目が離せません。特に高橋光成くん(現埼玉西武ライオンズ)は、前橋育英高校在学中、夏の甲子園での優勝投手であり、国内外で活躍しました。今シーズンはあの松坂大輔投手以来の高卒ルーキーとして完封勝利を収め、シーズン5勝を上げました。

文化面でもこのほど文化部のインターハイといわれる第39回全国高校総合文化祭が滋賀県で開催され、本校からは放送無線部、書道部が出場しました。吹奏楽部は県吹奏楽コンクールに出場し、3年連続10回目の金賞を受賞することができました。これも同窓会の誇りとするところで、このように生徒も周囲の沢山の皆様の御協力や励ましにより大変恵まれた環境の中、日々切磋琢磨しています。今年度は2年に一度の文化祭の年であり、10月23日・24日の両日には繋「Ebisso Open」のテーマを掲げ第24回育英祭が開催されました。各クラスや文化部の展示のほか、模擬店や大型企画などさまざまなイベントが行われ多数の来校者をお迎えすることができました。さらにボランティア活動にも積極的に取り組む地域社会からの厚い信頼をうけています。

これからも生徒たちと先生方が一致団結し、頑張っていたとき、我々も同窓会としてしっかり母校前橋育英高等学校の発展を支えていきたいと考えています。

## 私の近況報告

(第27期生・平成4年卒)  
木村 徹



早いもので高校を卒業してから20年以上もの月日が経ち、気が付けば今年で42歳。長女も高校受験を控え、家中では高校の話題が頻繁に。思い起こせば高校時代、毎日往復20キロ以上の道のりを自転車通い、時には家とは反対方向の友達の家まで遊びに行き、と今では考えられないような生活をあの頃はしていたのだと思います。部活動ではボクシング部をはじめゴルフ部、軟式野球部と転々としてきましたが、とても良い経験が出来たと思っております。特に軟式野球部では上原先生や磯田先生には部活動以外のアドバイスなどもいただきました。今年、20数年ぶりにお二人に同窓会総会の席でお会いした時、覚えていてくださったことがとても嬉しかったです。

たです。(ちなみに妻の父は元教諭の田中正憲先生です。)  
現在私は、家業である葬儀社の常務として日々務めております。前橋市を中心に直営の葬祭ホール富士見聖苑となんきつ聖苑、公営の前橋市斎場などでお葬式のお手伝いをさせて頂いております。  
今後も、前橋育英高校の益々の発展と先輩後輩方の活躍を祈っています。

## 富永 明子

(第31期生・平成8年卒)

高校卒業から約20年、時の流れの早さに驚愕しています。何より現国の竹淵先生が校長先生になられているとは、私は、前橋育英を卒業後、

看護系の短期大学に進学しました。15年間の看護師経験を積みながら大学院に進学し、現在は、県立県民健康科学大学看護学部の教員として小児看護に関する授業を担当しています。教育を受ける側から提供する側に立場が変わり、学習内容を理解してもらえよう説明することの難しさに直面しています。

高校時代の私は、思春期の真つ只中にあり、学校をサボる、遅刻する、早弁する、寝るなど、先生方にたくさんのご迷惑をおかけしたと記憶しています。そんな私を支えてくださった先生方の関わりを思い出しながら、温かく、時には厳しく、後輩育成に努めて

## 親子三代同窓生



石原 喜好 (第3期生・昭和43年卒)  
村田 幸輝 (第27期生・平成4年卒)  
真優 (普通科I類1年)

今春、娘が前橋育英高校への入学が決まり、義父、私が過ごした学び舎で、娘も高校生活を送ることになりました。



いきたいと思っています。また、県民健康科学大学には、前橋育英の卒業生が数名在籍しており、野球やサッカー、文化祭など、生徒達の活躍を耳にしては卒業生として一緒に盛り上がりつつあります。卒業してからも校歌を歌える機会があるというのは、とても幸せなことだと感じています。最後になりましたが、前橋育英高校のさらなるご発展を心より祈念しています。展  
けよ育英!

に携わってきました。

高校で過ごした3年間は辛かった練習も楽しかった思い出も、私にとって全て貴重な経験として生涯忘れることはないでしょう。

娘は入学後、硬式テニス部に入部しました。勉強と部活動の両立をしながら、全国大会出場という目標を掲げ、日々活動しています。目標達成に向かって努力する事は、将来必ず役に立つことでしょう。充実した高校生活を送れるように、家族全員でサポートしていこうと思っています。

# 後援会だより

## 育英ブランドを目指して

後援会長 福島 英人



この度、歴史と伝統のある前橋育英高等学校後援会の会長を仰せつかりました。身にあまり重責でありますが、育英高校発展のため全力で努力してまいります。関係皆様のご指導・ご鞭撻を謹んでお願い申し上げます。

## 退任の挨拶

前田 勇



月日の経つのは夢のようであり、PTA会長を務めた後、昭和57年から現在まで33年間、本校の後援会長を務めて参りました。当初は群馬県高等学校総合体育大会にしても成績が振る

平成二十七年  
後援会定期総会  
7月17日(金)ラシーネ  
副会長 小椋 靖晃

7月17日に開かれた定期総会にて、33年間前橋育英の名を背負い支えていただいた前田会長が退任となり、新会長に福島様が後を引き継ぎ、忘れる事のできない総会となりました。前田勇様ご苦勞様でした。そして有り難うございました。福島新会長の元、後援会を盛り上げていきたいと思ひます。

で学べてよかったですと実感できることが必要です。別の面から見れば、前橋育英で学ぶことの誇り、そして3年間で培われる品格と教養を備えた卒業生を、育英ブランドとして送り出すことにあると思ひます。

育英高校の更なる発展を願ひ、皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます。

会長を務められる福島秀人様には、常に前向きなご意見を頂き、感謝しております。

この度、若さ溢れる多才な福島秀人様に後援会長をお引き受け頂くことになりました。これから益々後援会の充実発展が期待出来ます。

福島新会長の更なるご活躍をお祈りいたしまして、退任の挨拶といたします。

## インターハイ壮行会 7月17日第一体育館

全国大会で得たもの 教頭 神山 義幸

1学期終業式に先立ち、インターハイ並びに全国高等学校総合文化祭の壮行会が行われました。出場選手の自己紹介、決意表明の後、保護者会を代表して反町光宏様より激励の言葉を頂きました。心のこもった温かい言葉をありがとございました。すでに各競技の結果は出ていますが、この全国大会では今年度の標語「挑む：失敗から逃げない勇氣、再挑戦を支える信頼」を生徒自身が体現・実感できたのではないかと確信しています。



## コラム育英Ⅱ

### ノーベル賞 日本人受賞

今秋、2人の日本人がノーベル賞を受賞するという快挙となり世界の注目を浴びました。感病から多くの人を救う特効薬を開発した医学生理学賞の大村氏、ニュートリノという素粒子に重さがあることを実証した物理学賞の梶田氏と連続で受賞となりました。世紀の発見までの道程とはどのようなものか？興味を持った不思議な世界に飛び込み未知な領域に入り込む。発見や成功に向けて一歩一歩進み、後退も繰り返す苦難の日々なのではなからうか。ゴールへの確信や確約がなくとも時間を費やして一心不乱に研究する。私は日常生活も同じだと感じます。何かに向かう努力が成功への道。(O記)

## 平成27年度「優秀前橋育英生」

今年度の「優秀前橋育英生」は、次の生徒達に贈られます。表彰式は12月22日終業式後に執り行われます。

ウエイトリフテイング部 寺島 奈穂(2-1)

2015年ウエイトリフテイング世界ユース選手権大会出場

陸上競技部 金子 美聡(1-9)

第1回アジアユース陸上競技選手権大会出場

女子サッカー部 小暮 千晶(2-10)

アジアサッカー連盟U-16女子選手権大会出場

放送無線部 村上 絢音(2-3)

第39回全国高等学校総合文化祭 放送部門 朗読部門 出場

書道部 萩原 鈴華(3-1)

第39回全国高等学校総合文化祭 書道部門 出場

## サッカー場 サブグラウンドの改修

長年の激しい練習により、高崎サッカー場サブグラウンドの人工芝が劣化し、昨年から練習に支障を来す状態になってしまいました。本年7月17日の定期総会にて承認いただいたとおり、「施設資金積立金」の一部を活用し、地盤舗装、人工芝の張替およびシート板の設置工事を実施しました。生徒達は新しい人工芝のサブグラウンドで安全に練習ができるようになり、とても喜んでいきます。

# 全国大会 出場決定!!

## 女子サッカー部

### 全国大会出場に向けて

監督 大手 真智子

この度、全日本高等学校女子サッカー選手権大会に出場できるのは、たくさんの方々に支えていただき今まで温かく見守ってくださった皆様のおかげです。本当にありがとうございます。この場をお借りして御礼申し上げます。

今年は、インターハイと2度目の全国大会になります。夢の舞台上でチャレンジャーとして思い切り戦ってきたいと思います。そして、新たな歴史を刻んでいきたいと思います。応援よろしくお願ひ致します。



第24回全日本高等学校女子サッカー選手権大会  
2016/1/3(日)～10(日)  
ノエビアスタジアム神戸ほか

## 男子サッカー部

### 第94回全国高校サッカー選手権

監督 山田 耕介

全国高校サッカー選手権県予選決勝、相手は桐生第一、今年度インターハイ県予選決勝で破れている強敵である。我々の合言葉は「最強のチャレンジャー」になる。この言葉を胸に闘った。失敗を恐れず常に前を向き挑み続け、積極的な姿勢を失わず選手達は闘ってくれた。しかし相手も力があるチームであきらめず臨んで来、試合はPK戦。お互い譲らず10人目まで続きやっと勝利。本当に名勝負であった。全国大会では「最強のチャレンジャー」を目指しましたががんばります。



第94回全国高校サッカー選手権大会  
2015/12/30(水)～2016/1/11(月・祝)  
埼玉スタジアム2002ほか

## 男子バスケットボール部

監督 加賀谷 寿

まずはご支援、ご声援いただきました皆様方に深く感謝申し上げます。また試合会場では前橋育英というチーム一丸での応援が非常に力になり、本当に心強かったです。

“平面、立体を制す”という言葉があるように、サイズの劣るチームに出来る事は何かを生徒と一緒に考えながら練習に励み、どんな時でも泥臭さを大切にウインターカップでは、歴代の先輩たち、保護者の想いを胸に頑張りたいと思いますので応援を宜しくお願ひします。



第46回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会  
2015/12/23(水・祝)～29(火)  
東京体育館

## 全国総文祭2016 出場決定!

第12回群馬県高校放送コンクール 11/7(月)



放送無線部

〈アナウンス部門〉

岡田 真澄(2-3) 優秀賞

※2016ひろしま総文祭出場

〈朗読部門〉

乙丸 沙枝(2-3) 優秀賞

※2016ひろしま総文祭出場

村上 絢音(2-3) 優良賞

※関東大会出場

## 第21回群馬県高等学校総合文化祭

第21回群馬県高等学校総合文化祭が、10月24日から11月15日にかけて「紡げ無限の可能性を」テーマに県内各会場で開催されました。31日には群馬音楽センターで総合開会式が開催され、本校生徒会総務が参加をし、合唱や和太鼓、チアリーディングなど、高校生たちの息の合った迫力ある発表を見学してきました。



美術展 奨励賞  
金田 萌々華(2-7)



書道展 優秀賞  
秋原 鈴華(3-1)



## 第86回群馬県創意くふう作品展 最高賞

作品名「段差を乗り越えられる車イス」  
和地 南々子(2-5)

この作品は、車椅子利用者の行動範囲を少しでも広げてあげたいという願いを込めて作りました。幅広い年齢層の方々に使用して頂くために、レバーの上下操作だけで段差を乗り越えらるるよう工夫しました。私の願いが他の方々へ届いたことに嬉しく思います。



## 編集後記

文化副委員長 生方 桂子  
夕暮れは、秋の訪れを感じながら、季節は移り変わっています。

今号も、多方面で前橋育英高校の活動や思いが沢山つまったものになりました。この熱い思いが、読んでいただいた皆さんに何かを感じてもらえたら嬉しいです。この会報の発行に協力いただいたすべての方々に感謝と御礼を申し上げます。

## 合同誌広報委員

保護者会

- |       |       |        |       |       |        |       |       |       |      |       |       |        |       |       |      |       |       |       |       |      |      |       |
|-------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|------|-------|-------|--------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|
| 河合 洋子 | 花泉 淳子 | 増田 麻衣子 | 生方 桂子 | 佐藤 暁枝 | 篠崎 由香里 | 山田 直子 | 生方 幸子 | 倉知 陽子 | 原 泉子 | 桑原 純子 | 大塚 真琴 | 津久井 文昭 | 蕪木 孝寿 | 磯田 靖晃 | 黒澤 光 | 神山 義幸 | 安達 友信 | 岡上 直美 | 唐沢 聡太 | 黒木 仁 | 塚田 聡 | 宮澤 千春 |
|-------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|------|-------|-------|--------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|